



2021年5月11日

各 位

会 社 名 エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社
代 表 者 取締役社長 荒木 直也
(コード番号：8242 東証第1部)
問い合わせ先 財務室長 野村 肇
(TEL 06-6486-6091)

2021年3月期 業績予想と実績との差異及び特別損失の計上に関するお知らせ

2021年1月28日に公表いたしました2021年3月期連結累計期間(2020年4月1日～2021年3月31日)の業績予想と、本日公表の同実績との差異が発生しました。また、同連結累計期間において特別損失を計上いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期連結累計期間の業績予想数値と実績との差異 (2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 730,000	百万円 △10,000	百万円 △10,000	百万円 △22,000	円 銭 △177.89
実績値(B)	739,198	△ 4,438	△ 2,907	△24,791	△200.45
増減額(B-A)	9,198	5,561	7,092	△ 2,791	△ 22.89
増減率(%)	1.3	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	897,289	11,171	11,831	△13,150	△106.38

2. 業績予想と実績との差異の理由及び特別損失の計上について

2021年3月期連結累計期間(2020年4月1日～2021年3月31日)においては、新型コロナウイルス感染症による影響は一進一退を続けたものの、下半期においては概ね想定の範囲内にとどまったことから、売上高、営業利益および経常利益は前回発表予想数値を上回りました。

一方、第2四半期に神戸阪急・高槻阪急の減損損失5,810百万円を計上したことに続き、第4四半期においても、収益性の回復に遅れが見られるGMS店舗を中心に減損損失8,961百万円(通期計14,771百万円)を特別損失として計上したことなどから、親会社株主に帰属する当期純損失は、24,791百万円と前回発表予想を下回りました。

詳細につきましては、本日開示しております当社決算短信をご覧ください。

以 上